

医療の質評価指標

当院では日本赤十字社の医療の質の評価・公表等推進事業における臨床評価指標を基に分析を行っています。



入院患者満足度①

「全体としてこの病院に満足していますか？」

計測条件

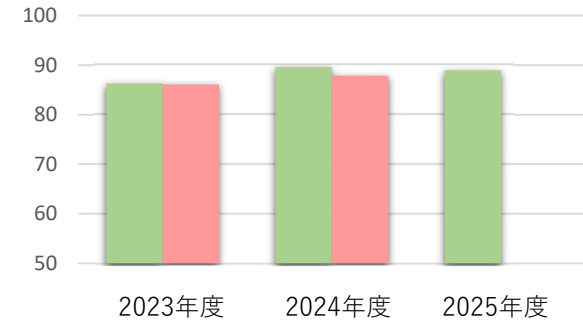
分子

分母のうち「非常に満足している」または「やや満足している」と回答した入院患者数

分母

入院患者への満足度調査項目「全体としてこの病院に満足していますか？」の設問有効回答数

入院患者満足度調査アンケートの当院の総合的評価にて10点満点中、8点以上と回答して下さった方の割合です。



当院(%)	86.3	89.6	89.0
赤十字グループ平均(%)	86.1	87.9	

入院患者満足度②

「入院の原因となった病気や症状に対する診断や治療方針について、医師から受けた説明は十分でしたか？」

計測条件

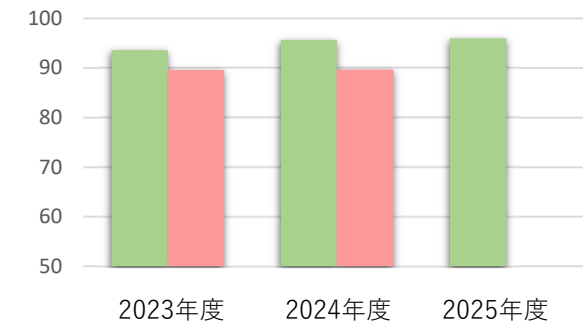
分子

分母のうち「十分だった」または「まあまあ十分だった」と回答した入院患者数

分母

入院患者への満足度調査項目「入院の原因となった病気や症状に対する診断や治療方針について、医師から受けた説明は十分でしたか？」の設問有効回答数

本指標の結果をもとに、患者さんとの情報共有やコミュニケーションの妥当性を見直します。



当院(%)	93.6	95.7	96.0
赤十字グループ平均(%)	89.7	89.7	

外来患者満足度①

「全体としてこの病院に満足していますか？」

計測条件

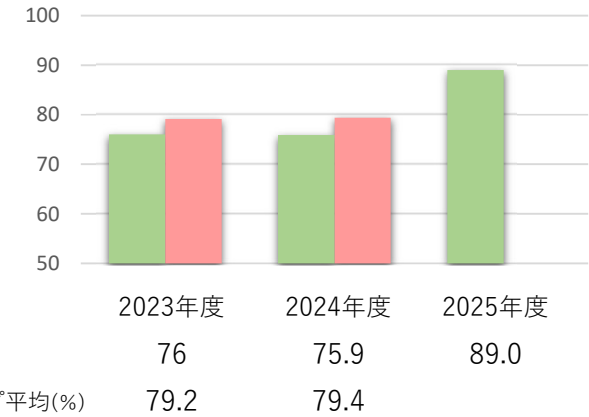
分子

分母のうち「非常に満足している」または「やや満足している」と回答した
外来患者数

分母

外来患者への満足度調査項目「全体としてこの病院に満足していますか？」
の設問有効回答数

外来患者満足度調査アンケートの当院の総合的評価にて10点満点中、8点以上
と回答してくださった方の割合です。



外来患者満足度②

「診断や治療方針について、今日までに医師から受けた説明は十分でしたか？」

計測条件

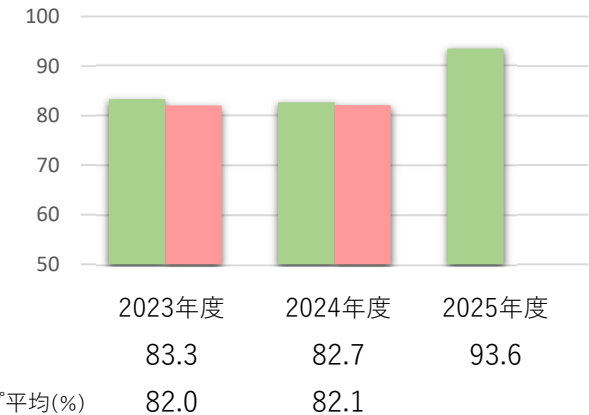
分子

分母のうち「十分だった」または「まあまあ十分だった」と回答した外来患者数

分母

外来患者への満足度調査項目「診断や治療方針について、今日までに医師から
受けた説明は十分でしたか？」の設問有効回答数

本指標の結果をもとに、患者さんとの情報共有やコミュニケーションの妥当
性を見直します。



転倒・転落①

「入院患者での転倒転落発生率」

計測条件

分子

入院中の患者に発生した転倒・転落件数

分母

入院患者延べ数（人日）

入院患者の転倒転落は、患者が自立的に活動される限り、完全に防ぎきれものではありませんが、骨折や内出血などをきたすことがあり、『発生率』を少しでも減らすために各施設で努力を続けています。



	2023年度	2024年度	2025年度
当院(%)	2.91	2.88	3.19
赤十字グループ平均(%)	2.53	2.78	-

インシデント・アクシデント①

「1か月間・100床当たりのインシデント・アクシデント発生件数」

計測条件

分子

調査期間中の月毎のインシデント・アクシデント発生件数×100

分母

許可病床数

インシデントは比較的軽い、影響度の小さい事故、アクシデントは影響度の大きい事故をさしています。本指標は『発生件数』とありますが、正確には『報告件数』です。『報告件数』は多い方が医療安全への意識が高いと評価されていましたので、「多い方がよい」と考えられており、「事故が多い」こととは意味合いが違うことに注意が必要です。



	2023年度	2024年度	2025年度
当院(件/100床)	41.9	46.6	43.4
赤十字グループ(件/100床)	37.5	40.7	-

褥瘡推定発生率

計測条件

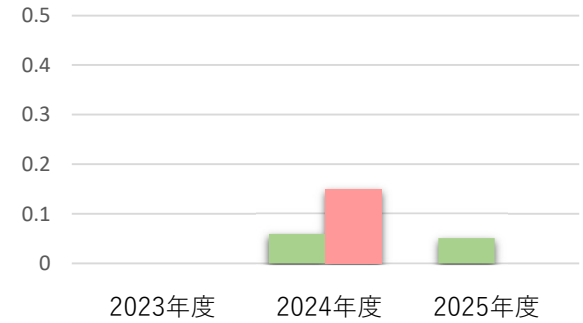
分子

調査日に褥瘡を保有する患者数 - 入院時既に褥瘡保有が記録されていた患者数

分母

調査日の施設入院患者数

褥瘡の発生は、患者の生活の質（QOL）を低下させる要因となり、在院日数の長期化にもつながります。患者の栄養状態等によっては褥瘡が発生しやすい状況もありますが、褥瘡対策チームとも協力し、計画に基づいた適切な褥瘡予防対策を実施し、発生率を低下させることが求められます。



年度	当院(%)	赤十字グループ平均(%)
2023年度	0.06	0.15
2024年度	0.06	0.15
2025年度	0.05	0.15

早期リハビリテーション

「脳梗塞患者への早期リハビリ開始率」

計測条件

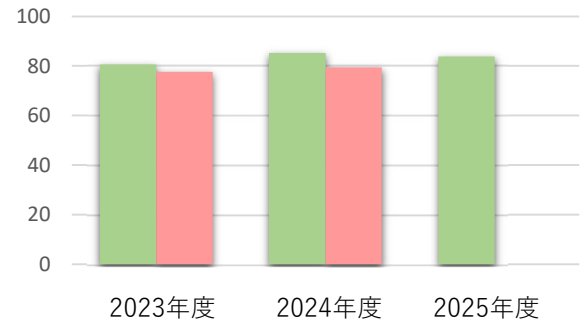
分子

分母のうち入院後早期（3日以内）に脳血管リハビリテーション治療を受けた患者数

分母

18歳以上の脳梗塞の診断で入院した患者数

脳梗塞は、脳の血管が細くなったり、血管に血栓が詰まることで、脳に酸素や栄養が送られなくなり、その部位の脳組織が壊死あるいは壊死に近い状態に陥ってしまう病気です。脳梗塞の後遺症によって、寝たきりになると、筋萎縮・筋力低下、関節拘縮、肺炎、褥瘡、抑うつ等の症状が現れる廃用症候群が起ります。廃用症候群の発生を低下するためには、早期からのリハビリテーションが重要になります。



年度	当院(件/100床)	赤十字グループ(件/100床)
2023年度	80.7	77.7
2024年度	85.3	79.4
2025年度	83.8	79.4

服薬指導

「薬剤管理指導実施率」

計測条件

分子

分母のうち薬剤管理指導を受けた患者数

分母

入院患者数

服薬指導（薬剤管理指導業務）とは、入院患者の薬歴管理と服薬指導を介して、患者に服薬方法や副作用などの情報を提供し、安全な薬物療法につなげるとともに、患者から得られた情報を医師にフィードバックすることにより、薬物療法を支援する業務のことを言います。入院患者に対する『薬剤管理指導実施率』は、薬剤師による質の高い医療への関与を測る指標となります。



	2023年度	2024年度	2025年度
当院(%)	81.9	81.9	81.8
赤十字グループ平均(%)	62.4	64	

血液培養の実施

「血液培養実施時の2セット実施率」

計測条件

分子

血液培養オーダーが1日に2件以上ある日数（人日）

分母

血液培養オーダー日数（人日）

病原体は血流中にばらついて存在することがあり、血液培養検査1セットの検査では原因菌を特定すること(検出感度)が限られてしまいます。血液培養検査を2セット施行した場合の検出感度は、1セットの場合と比べて約30%近く向上するといわれており、2セット以上採取することが世界的なスタンダードとなっています。本指標は、各施設で適切な感染症治療が行われているかを評価する上で重要な指標となります。



	2023年度	2024年度	2025年度
当院(%)	92.4	77.1	88.4
赤十字グループ平均(%)	77.5	73.1	